



災害時の『備え』は万全ですか

家族で話し合っ

ておきましょう

災害時に落ち着いて行動するのは難しいことですが、備蓄品や情報収集の手段、避難経路などをあらかじめ確認しておくことで、適切な行動をとりやすくなります。

今一度、自分や家族の備えについて、次の空欄を埋めながら話し合ってみましょう。

蓄えを確認する

- 私の備蓄品（生活で最低限必要なもの）は

夏

冬

です

避難経路や地域の特性について確認する

- 最近参加した避難訓練はいつ気付いたこと
- 自宅の海拔は約____メートルです
- 住んでいる地域で発生する可能性がある災害は____です
- 自宅から近い避難場所／高台避難所は____で、歩いて____分くらいかかります
- もしものときの集合場所は____です



大雨・集中豪雨に備える

大雨や集中豪雨は、河川の氾濫や浸水、土砂災害などを引き起こす可能性があります。

雨が降り続いて不安に思っても、河川や用水路の様子を見に行くことは大変危険です。テレ



▲高台避難誘導看板



▼海抜表示看板

また、津波が河川をさかのぼって襲ってくることもあるため、河川のそばに住んでいる方も注意が必要です。市内の電柱など、430カ所に設置している『海拔表示看板』、市民や観光客の皆さんが速やかに高台の避難所へ避難することができるよう設置している『高台避難誘導看板』などを普段から意識して、避難経路などを確認しておきましょう。

自分や家族を助ける『備え』



自然がもたらす災害を、ゼロにすることはできません。近年、日本各地で発生している、東日本大震災や西日本豪雨、北海道胆振東部地震など、想像を超える大規模な災害の教訓を生かし、一人ひとりが災害に対する知識や備えを積み重ね、充実させていくことで、『明日』の災害の被害を最小限に食い止めることができます。

今一度、私たちが暮らすまち、登別でも、災害が起こる可能性があるということを確認し、登別市防災マップを家族で見直したり、備蓄品や避難経路などを確認して、明日のため、未来のための『防災力』を高めてみませんか。